

ファミサポ・認サポ通信

令和8（2026）年3月発行号

日頃から、ファミリーサポートセンター介護型事業、認知症高齢者見守り事業（認知症サポートセンター）に対し、ご理解とご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

また、人事異動などにより、担当職員の変更がございましたが、なかなか皆さまにご挨拶することができず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

本通信をもってご挨拶とさせていただきます。

さて、本通信では、令和7年度の事業報告と、ファミサポ・認サポの支援活動を紹介させていただきます。

皆さまの支え合いの活動が、旭川における地域福祉の推進の一助であることを知っていただくとともに、安心・安全なまちづくりの参考になればと思います。

今後とも、よろしくお願いいたします！！



令和7年度 事業報告

提供会員養成講座



ときわ市民ホールと忠和地区センターで開催し、合計11名の方に提供会員として登録していただくことができました。

月 日	場 所	参加者数	登録者数
7/3 (水)	ときわ市民 ホール	11名	7名
9/12 (金)	忠和地区 センター	7名	4名



スキルアップ講習会

依頼会員さんからの紹介により、札幌在住で、認知症の妻を介護されている竹内真一さんを講師としてお招きし、「認知症の妻とともに～かけがえのない日常～」をテーマにお話しをしていただきました。男性ならではの、介護のリアルを学ぶことができました（アンケート結果から）。

また、グループワークで支援活動のほっこりエピソードなどを、限られた時間で共有していただきました。

月 日	場 所	参加者数
10/16 (木)	ときわ市民ホール	29名



提供会員意見交流会



NPO法人カムイ大雪バリアフリー研究所全面協力により、体験型の交流会として、ボッチャなどのパラスポーツで、会員さん同士のつながりを深めました。

また、同法人の代表理事・五十嵐真幸さんに、『人と人とのつながりと支え合うこと』をテーマにお話しをしていただき、「ボランティア活動に携わっていることに感謝」、

できるボランティア活動を探す意欲につながった」、「一緒に楽しむことが大切なことを学びました」などの感想をいただきました。

月 日	11/27 (水)
場 所	ときわ市民ホール
参加者数	18名

令和8年度も
よろしくお願いいたします！



ファミサポ支援活動の紹介

～掃除と調理支援～

利用者のYさんは独居男性 89歳になられます。
平成26年3月10日より月2回、2時間の掃除支援でスタートしましたが、令和4年8月より調理支援も加わり週3回月・水・金 1時間半の支援になりました。
買物ご自身や、時には息子さんと行かれ、調理をMさんと一緒にしています。
支援開始から今年で丸12年 利用者Yさんと提供会員Mさんの掃除・調理支援のご紹介をさせていただきます



今日は、どのコーヒーにしようかな？



*利用者 Yさんより

FSCの利用をしようと思ったきっかけは「忘れてしまった。」と笑いながら話されるとともに、「自宅での自立した生活を選んだものの、献立を考える事は難しく、それでも買ってきた材料でMさんがうまく調理してくれる。美味しいですよ」と、感謝の気持ちを話してくれました。Yさんはご自分でもご飯を炊いたり漬物を漬けたり夜はお酒もたしなんでいるとの事でした。

支援が終わる頃を見計らい、コーヒーを用意し豆を挽いて淹れてあげるのが嬉しい時間と話されていました。

*提供会員 Mさんより

本職を卒業し、市民こうほうでFSCを知り講座を受け提供会員になったそうです。

「人と関わることが好きで、Yさんの支援も楽しいです」と話されました。

自分の作った料理が残っていなかった時は、特にやりがいを感じるようで、「残っていた時はそれを更にアレンジして食べていただいています。」と笑顔で話されました。

調理の時間が増えた分、掃除は3回に分けて行い、洗濯などYさんが出来る事は自身でやっています。

支援が終わるとYさんの淹れてくれたコーヒーを飲みながら、以前行った旅行の話などをしたり会話の時間も楽しいです。



椎茸のすり身乗せ
ピーマン肉詰め
ほうれん草お浸し～



認知症高齢者見守り事業（認知症サポートセンター） 支援活動の紹介「交流」

脳出血の後遺症により、アルツハイマー型認知症を患ったIさん。
お話し相手、散歩の同行をお願いしたいとお母さんから依頼があり、令和6年12月から認知症高齢者見守り事業を利用いただいています。

その当初から支援しているTさん。
パソコンを持参し、Iさんが趣味で撮影した野鳥の写真を一緒に見たり、夏場は散歩の同行、時には脳トレや指体操の本などを自費で購入して一緒にやってみるなど、支援を工夫して、現在も継続して支援いただいています。



依頼会員（お母さん）

Tさんが支援に来てくれると、息子が笑顔になってくれる。Tさんの支援を喜んでいるようで、私まで笑顔になります。

Tさんのおかげで、気持ちの余裕ができました。時には、息子の介護の悩みをTさんに聞いてもらうこともあります。とても助かっています。

息子は、年々できないことが増えていますが、Tさんのおかげで「できること」を発見することができています。

これからも、よろしくお願いします。



一緒にラジオ体操♪

野鳥の
DVDを視聴中



提供会員のTさん

10年以上続けた東日本大震災の被災地支援をキッカケに、旭川市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録しました。ボランティアセンターからさまざまな案内が届きましたが、その中に、ファミサポ・認サポ提供会員養成講座の案内があり、令和5年に受講し、現在に至ります。

これまで、赤い羽根の街頭募金活動や冬まつりなどのボランティア活動に参加しましたが、提供会員としての活動は、自分が経験したことのないことを学ぶ機会に恵まれ、そのことが自分のためになっている活動です。

Iさんの「できること」の発見や増えていくことが活動の励みでもあります。Iさんの笑顔のため、これからも継続して支援させていただきます。

おめでとうございます！

長年、ファミリーサポートセンター介護型事業及び認知症高齢者見守り事業の提供会員として、また同事業のサブリーダーとして活躍していただいているCさん。

その功績により、この度、旭川市社会福祉協議会会長表彰が決定し、2月1日（日）に行われた旭川市社会福祉大会において表彰状が授与されました。

Cさん、おめでとうございます。そして、これからも、よろしくお願ひします。



数字で見るファミサポ・認サポ (令和7年4月～令和8年1月)

ファミリーサポートセンター介護型事業

年 度		活動件数	活動時間	利用者実数	活動提供会員実数
令和7年	のべ	1,017回	1,678:50	455人	388人
	1か月平均	102回	167:53	46人	39人
令和6年	のべ	970回	1,589:00	432人	361人
	1か月平均	97回	158:54	43人	36人

認知症高齢者見守り事業（認知症サポートセンター）

年 度		活動件数	活動時間	利用者実数	活動提供会員実数
令和7年	のべ	439回	753:30	93人	114人
	1か月平均	44回	75:21	9人	11人
令和6年	のべ	515回	781:00	106人	120人
	1か月平均	52回	78:06	11人	12人

令和7年3月に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）等に、事業リーフレットを発送し、事業周知を行った結果、ファミサポの実績が前年より増えました。これは、要介護認定の遅れ（認定が出るまでの間だけ利用したい等の要望）が少なからず影響していると思われます。また、認サポについても、ファミサポ同様、9月までの実績が前年度より多く推移していましたが、介護保険サービスとの併用や、利用者さんの入院・施設入所などが相次ぎ、前年度を下回る結果となりました。

お問合せ先

社会福祉法人

旭川市社会福祉協議会

(ファミリーサポートセンター介護型事業)

(認知症高齢者見守り事業（認知症サポートセンター）)

〒070-0035

旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階



(ファミサポ)



(認サポ)

二次元コードで
ホームページに
簡単アクセス！



☎ 0166-90-1449

E-mail fami_ninsapo@asahikawa-shakyo.or.jp

受付：午前8時45分～午後5時15分

※土・日、祝日、年末年始（12月30日～1月4日）はお休みです。